

オランウータン

中野
劇団

オランウータン

作・中野 守 (中野劇団)

登場人物

森野

従業員A

従業員B

医者

隣の客数名

某旅館の一室。森野が泊まっている。

森野 ……最悪だ。何なんだこの旅館。

森野、フロントに電話を掛ける。

森野

すいません。お風呂のお湯が、温かくならないんですけど。ちょっと見てもらえないですか。……（通じていない様子）あれ？ もしもし？ はい。もしもし？ ……え？ いやあの、こっちは聞こえてるんですけど。もしもし？ ……あれ？ 聞こえますか？ ……切れた。

森野、内線電話を切る。

森野

……通じたのかな。まあいいや。

森野、足と腰の痛みに顔を歪める。

森野

痛ててて。早く風呂に入りたかったのにな。

森野、床に釘を見つける。

森野 ……釘だ。……何なんだこの旅館。

従A 失礼しまーす。

森野 早。どうぞ。随分早いな。

従A お布団敷きに来、うわ！

部屋に入った途端仰天する従業員A。どうして驚かれているのかわからない森野。

森野 ……？ あの、風呂のお湯が全然温かくならないんです。

従A 嘘……。

森野 え？ いえあの今フロントに電話したんだけど、聞いてないかな……。

部屋を見回す従業員A。

従A 何これ？

二人、ストップモーション。

声

(ピンポンパンポン) ただ今、従業員には目の前の男がオランウータンに見えてお
ります。

再び動き出す。

従 A

何これえ!?

森野

ちよつと見てもらえるかな?

森野から一定の距離をとる従業員 A。

従 A

(奥の部屋にいるであろうオランウータンの主人に聞こえるように) お布団敷きに
来ましたー。

森野

わかってるよ。……それでさっきから、電話も調子が悪いみたいなんだけど。相
手の声は聞こえてるんだけどね。こっちの声が……。

従 A

何でエ (おるの) ?

森野 いやあの、最初から……。かけようと思ったら……。もう故障してて。

従A うーわ、ありえねー。

森野 ……全然申し訳なさがないよね。いや実際おかしいんだよ。

従A マジありえねー。

森野 掛けないといけない所があつてさ……。

従A 何これ、すっげえシュールなんだけど。

森野 聞いてって！

従A ありえねー。

森野 何なんだねさつきからーありえねーありえねーって！ ありえないのは君の態度じゃないか！ ……携帯の電池が切れて充電器も忘れてしまったから、その電話を使いたいんだよ。ちよつと見てくれないか。

間。

従A ……めっちゃ見てる。

森野 見てって。

従業員Aに近づこうとして、足と腰が痛くて限りなくオランウータンの歩き方に近くなってしまう森野。

従A うわあああ！

森野 ……。

従A 怖わあ……。

森野 ？

従A 忘れ物？

森野 は？

従A んなわけねえよなあ。えー？ まあ大丈夫だからいるんだろうな。うわあ、スゲ

え毛抜けてそうだなあ。

ほっといてくれ……。

従A 掃除大変だな。

森野 何なんだ君！ 客に對して。早く電話しないといけないんだ。

従A うわ！ シッ！ シッ！

間。

森野

……何かおかしいね。俺が何かに見えているんだろうか。君、俺のことどう見えてるんだ。

従A

こっちが警戒するからダメなのかな。

森野

うん、まず、人の話聞こう。

従業員A、手を差し出す。

従A

あんまり人見知りしないのかな。

森野

あの……。取りあえず、電話直してくれるかな？

従業員A、電話をかける。

従A

あ、タダシです。

森野 え？ 使えるの？

従A 今601号室に来てるんですけど、ハッ！

森野が近づくと咄嗟に身構える従業員A。

従A ……誰かこっちによこしてくれませんか。……はい。ちょっと珍客が。

森野 珍客？

従A ……取りあえず来て、見てもらったらわかるんで。……はい。

従業員A、電話を切る。

森野 ええ？ ……電話使えるんだ。ええ？

電話の裏を覗き込んだりして調べる森野。

従A 電話に興味を持ちました。

森野

……。

森野、受話器を取る。

従 A

取った。かしこつ。

森野

は？

従 A

(それは) でん・わ。……でん・わ。

森野

？

従 A

(幼児に言うように) 電話したいの？ 電話するの？ あそう。

森野

何なんだこれは。君は、本当にここの従業員なのか？

従 A

凄え歯茎。

森野

何なんださつきから客に対して。

間。

森野

……何かがおかしい。君？ 俺の言葉が聞こえてるか？ おーい！ おーい！

まじまじと森野の顔を見つめる従業員A。

森野 聞こえてない。何なんだこれ。

従A 何なんだこれ。

森野 俺がおかしいのか？

従A めっちゃ愛嬌あるなあ。

森野 絶対何か違うものに見えてるだろ。 え？ 何？ 何か珍しい系だろ？

従A お座り！

森野 犬？

従A お座り！

森野 え？ 犬なのか？

従A ……ダメか。犬より賢いはずなのになあ。

森野 犬じゃないのか。だよな。犬が電話取ったら、かしこ、では済まないもんな。

従A 言い方か。……なあ、自分ちよっと座ってみよっか？

森野 あの、聞こえないと思うから言うけど、……君はバカだろ。

従 A　　へーくしょん！　また誰か、俺のこと噂してるな。

森野　　勘はいいんだな……。くしゃみして、噂しているな、なんて現実で言う人初めてみたけどな。……ああ、もうどうしたらいいんだ……。

森野、しゃがむ。従 A ガッツポーズ。

森野　　違ーう！

従 A　　かしこつ。もしかして、俺の言葉通じてんの？　何が言いたいの？　言ってみ？

森野　　俺のこと一体何に見えてるんだ？　医者を呼んでくれないか！

従 A　　ハハ。キャツキャツキャツ言うてるわ。

森野　　おちよくってんのか？

従業員 B 登場。

従 B　　向こうも食事終わったから布団……。

Aと同じように森野を見て驚く。三人ストップモーション。

声

(ピンポン。パンポン) 従業員Bにも、目の前の男がオランウータンに見えています。ただし、従業員Bは男の言葉は普通に聞こえます。

動き出す。

従B

うわ！ ええ？

従A

タダヒコ、いいとこに来た。

従B

何で？

従A

ありえねえだろ。ありえねえだろ。

森野

ありえないのは君の言動だろ。

従B

うわあ！

森野

は？

従B

喋った！ 今喋った！ 何これ！?

森野

え？ わかるのか？ 俺の言葉がわかるのか？

従 B え？ 俺の言葉わかるの？

森野 こっちが聞いてるんだ。

従 B 何なんだよこのオランウータン！

森野 オランウータンか。

凹む森野。

従 A 何で会話できるんだよ。

従 B え？ 喋ってるじゃん。

従 A いやいやいやいや。

従 B いやマジだって。

従 A ウホウホってしか言っていないだろ。

従 B ええ？

従 A 質問してみて。

従 B 質問？

従 A 何でもいいから。

従B うん。どうして人間の言葉がわかるようになったの？

森野 逆だよ。俺は人間だ。もう少し接客の仕方があるでしょ。

従B え？

従A 何て？

従B 俺は人間だ。もう少しで。

森野 違う！

従A 進化待ち？

森野 「で」って何だ「で」って！

従A 早く人間になりたいの？ 進化したいの？ あそっ。

森野 ちゃんと通訳してくれよ。普通の人間だって。

従A 超えられない壁もあるって教えた方が……。

従B 普通の人間だって。

従A ええ？ 失礼だけど、凄いやオランウータンに似てるだけか聞いてみて。

森野 本当に失礼だな。違うよ。

従A 聞いてみて。

従B 違うって言ってる。

森野 この部屋泊まってから急にこうなったんだ。こっちの人には言葉も通じないし。電話も伝わらないし。何とかしてくれよ。君しかいないんだ。お兄さんだけが頼りなんだよ！

従A 何て？

従B いや……、ウホウホって。

森野 面倒臭がるなよ！ 聞こえてるだろ！

従B あーダメだ。もうウホウホってしか聞こえないや。

森野 嘘だ！ 聞こえてただろ！

従B あれー？ 嘘？ さっきまで聞こえてたのにな。

森野 釘落ちてる。

従B え？

森野 聞こえてるじゃないか！ 面倒臭がらずに何とかしてくれよ。

従B いや、何とかって言われても、ただのバイトなのにそんな……。

従A また聞こえるようになったのか？ そうなのか？

森野 そっちの彼にちょっと席外してくれって言つてよ。

従A、バナナを見せる。

森野 って何で持ってるんだよ！

従A ここでバイトしたいって言ってるのか？

従B この部屋のお客さんみたい。理由はわからないけど、突然オランウータンになったんだった。

森野 その財布の中に俺の免許証が入ってる。

財布から免許証を出す。

森野 そこに写ってるのが本当の俺だ。

従B ……名前は？

森野 モリノヒトシ。

従B どうしよ。病院行きましょうか。

森野 そうだな。

従A 病院行くの？

従B うん。

従A ちょっと待ってて。

従B え？

従A すぐ戻って来るから。

従B おい。

従A、出て行く。

森野 あの、お風呂お湯出ないんですけど。

従B ああ、はい。

近くの部屋の宿泊客が集まってきて、写メールを撮るために携帯を構えている。

客A もうちょっと近づいて。

客B こう？

森野 ちよつと、追い出してもらえます？

従B あの、すいません。こちらのお客様のご迷惑になるので、お部屋に戻ってもらえますか。

客A 何だよ、オランウータンのくせに。

客B 行こ。

客、帰る。

森野 くせにつて……。

従A、戻って来る。

従A こっちです。(従Bに)隣の部屋、お医者さん泊ってたから。

医者、登場。

従B おお。

医者 あらら、ホンマやね。近づいても平気？

従B 多分。

医者 ちょっと診てみますね。お名前は？

森野の下脛を引っ張ったりして、診察する医者。

従B モリノヒトシさんです。

医者 あそう。……森野さん？

森野 はい。

医者 何処か痛いところあるかな？

森野 腰が。

従B 腰が。

医者 成程。ああ、まあ一時的なものでしょう。これくらいやったら、別に病院まで行かんでも、二、三日安静にしてたら元通り人間の姿に戻ると思っか？

森野 え？

医者 自分、客がオランウータンみたいになってるって言うてたけど、百パーオランウータンやん。

従A 全くその通りで。

従B でも言葉通じるし……。もしかしたら、映画の転校生みたいになつて入れ替わったのかも。逆の、人の姿した方探したら……。

医者 君、診たるわ。ウチの部屋おいで。

従B ……え？

従A タダヒコ、診てもらえ。

従B ……診てもらえますか。

医者 その代わり宿泊料まけてや。

従B えー、まじっすかあ。

三人 出て行く。

森野 待てよ！ 病院！ お風呂！ 布団！ 釘！



取り残される森野。終わり。